

技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

自治体の 紹介



- 平塚市は神奈川県西部、湘南エリアに位置し、JR東海道本線で東京駅から約1時間程。
- 中心市街地では毎年7月に「湘南ひらつか七夕まつり」が開催され、多くの人々が訪れます。



湘南ひらつか七夕まつり

取組みの 背景

・ 現状の 課題

- 本市はJR平塚駅を唯一の鉄道駅とし、当該駅を中心に、周辺の小田急線駅へ約70路線のバスが運行される等、路線バスは市民生活に欠かせないものとなっています。
- 持続可能な路線バス運行を目指し、様々な施策（バス利用環境の改善による利便性の向上（サイクル&バスライド駐輪場の整備）や環境面と運行経費面の改善支援（電気バス導入補助）等）に取り組んでいます。
- しかし、本市においても運転士不足は大きな課題であり、この解消の一助として、路線バス運行事業者とともに、路線バスの自動運転化に向けた実証実験を進めています。



本市が導入を補助した電気バス

技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

事業の 目的と 内容



▲2024年度に使用した「いすゞ エルガ」



▲地域公共交通のDX推進に係る連携協定締結の様子
(2024年1月19日)

- 2023年度(令和5年度)に、平塚駅南口の循環路線(平15系統)にて、国産の大型路線バスを用いた実証実験を開始。
- 取組にあたり、知見を有する事業者と連携協定を締結(神奈川中央交通株式会社、三菱商事株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、A-Drive株式会社、いすゞ自動車株式会社)。
- 2027年度(令和9年度)の自動運転レベル4(※)認可取得を目指し、車両及びインフラ両面から検証を進めている。

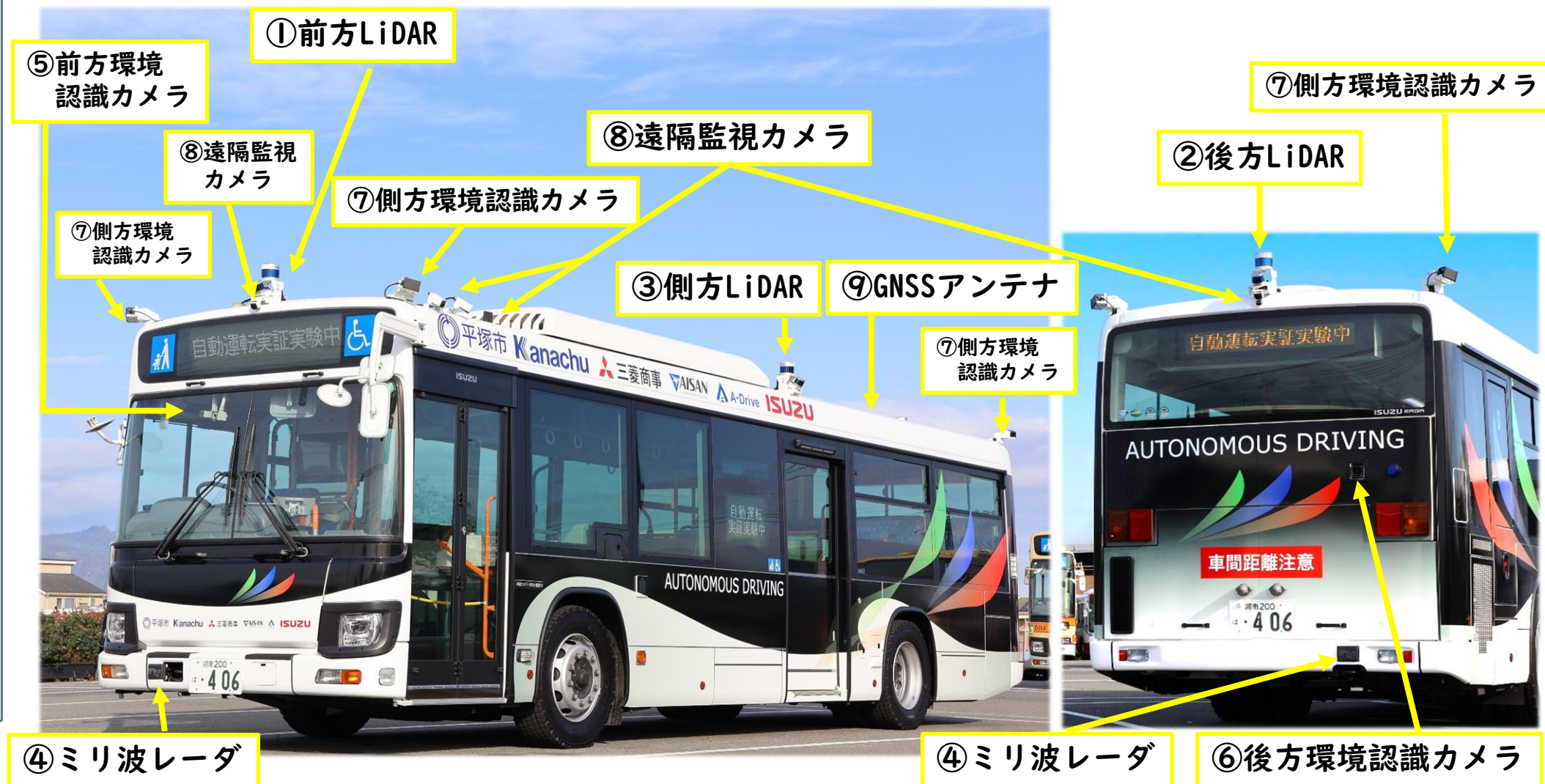
【主な検証項目】

遠隔監視、信号装置との連携、
路上駐車回避、
システム判断によるバス停からの自動発車等

(※) 自動運転レベル4…特定条件下において
システムが全ての運転タスクを実施

技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

安全運行上
必要となる
機器搭載の
自動運転
バス車両



得られる 成果等



【本市検証の特徴】

- 大型バス車両を用いた既存の営業路線を、そのまま自動運転に置き換えることを目指しています（国の事業採択審査員から「チャレンジした事業」として評価を受けました）。
- 将来的には、平塚駅南側全域の路線バスを自動運転バス化し、人的リソースを再配分することで、平塚駅北側の路線バスの維持につなげます。
- 運転士運転による路線と自動運転による路線を棲み分け、バス路線を確保・維持することで、持続可能な路線バス運行に繋げる計画です。
- 2025年度（令和7年度）は、全国初となる国産大型EVバスによる実証実験を目指しています。

**寄附をする
メリット等**

- 本市の取組みは、既存の営業バス路線を、同じサイズ（大型車両）でそのまま自動運転化を目指すのが特徴であり、ノウハウを積み重ねた実装の実現によって、路線バスの廃止・減便等の課題を抱える全国の自治体にとって、課題解決のモデルケースとなるものと自負しています。
- また、路線バス運行事業者、バス製造メーカー、自動運転技術の開発ベンダーが結集して取り組んでおり、国産の自動運転技術普及に向け、注目度が非常に高い取り組みです。

**寄附により…****応援いただいた事業者としてPR****御社の研修等にご活用ください！**

- 👉 市長から感謝状の贈呈
- 👉 ホームページ掲載
- 👉 記者発表プレスリリース など
- 👉 実証実験の見学も可能な限り対応いたします。

技術の力で地域の交通手段を守る！ 路線バス運行維持支援事業「自動運転バス実証実験」

問合せ等

- ・国産自動運転バスの社会実装に向け、検証とフィードバックの積み重ねに多くの費用が必要となっています。皆様のお力をぜひお貸してください。
- ・事業について、さらに詳しくご覧になりたい方は本市ウェブサイトをご覧ください（右記の2次元バーコードからアクセスできます）。
- ・全国の交通課題解消に繋がる事業を皆様と共に…。多くの応援をお待ちしております。

【この事業に関する問合せ先】

平塚市まちづくり政策部交通政策課 担当：海老澤、広永、平宮

電話：0463-21-9840（直通）

メール：kotsu@city.hiratsuka.kanagawa.jp



この事業は、SDGs の17 のゴールのうち、特に9番、11番、13番、17番に貢献します。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

